

～ 音楽部門 ヴァイオリン ～

いとう りょうたろう
伊藤 亮太郎

(1973年生)

【受賞者の経歴と受賞理由】

千葉市出身。札幌市在住。

桐朋学園ソリスト・ディプロマコース修了。

1989年日本音楽コンクール・バイオリン部門第1位、黒柳賞、レウカディア賞受賞。アスペン国際音楽祭に参加しドロシー・ディレイ女史に師事。1992年第1回ストラディヴァリウス・コンクール優勝、1994年チャイコフスキー国際コンクールディプロマ賞他、数々の国際コンクールに入賞。

ロンドンに留学し、ロンドン、アムステルダムなどでリサイタルを行う。1997年ストリング・クワルテット「ARCO」を結成し、第1ヴァイオリン奏者として活躍、2000年秋にはピクチャーエンタテインメントより「アンダンテ・カンタービレ」をリリースしている。2002年サントリーホールでソロ・リサイタルを開催し、内外の高い評価を得る。2005年6月、札幌交響楽団コンサートマスターに就任。2010年から4年間活動した「New Kitaraホール・カルテット」においては、質の高い演奏を聴かせ、札幌トップ奏者たちの力量を示した。

その演奏は、美しい音色を生かしつつ、高い技巧に加えて繊細さと大胆さを兼ね備えたもので、緩急自在で思い切りがよく、表現の幅を大きく取って、曲の魅力を余すところなく引き出すものと言える。同年リリースした「チャルダッシュ～伊藤亮太郎／ヴァイオリン名曲集」でもその特質は遺憾なく発揮されている。

これまでにソリストとしてローザンヌ室内管弦楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団と共演する他、JT アートホール室内楽シリーズ、宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭、倉敷音楽祭、イシハラリックアンサンブル、水戸室内管弦楽団等多くの演奏会に出演し、多彩なアーティストと共演。1999年よりサイトウ・キネン・オーケストラに参加。

札幌のリーダー役を果たす一方、ソロ、室内楽、ゲストコンサートマスターなど道内外で多方面に活躍を続けている。室内楽や独奏にも積極的に取り組み幅広く活躍しており、今後一層の活躍が期待されることから、奨励するものである。

【近年の主な活動実績】

- 2009年 第516回札幌交響楽団定期演奏会にて札幌と共演。
(プロコフィエフ「ヴァイオリン協奏曲第2番」 / 尾高忠明指揮)
- 2010年 CD「チャルダッシュ ヴァイオリン名曲集」をリリース。
札幌稚内音文協第25回定期演奏会にて札幌と共演。
(ヴィヴァルディ「四季」 / 高関健指揮)
- 2010年より 「New Kitaraホールカルテット」のメンバーとして活動。
- 2011年 札幌ニューイヤークンサートin小樽にて札幌と共演。
(ブラームス「ヴァイオリンとチェロの為の二重協奏曲」 / 石川祐支チェロ / 尾高忠明指揮)
- 2012年より 「コンサートマスターの競演」出演(東京ヤマハホール)

～ 美術部門 彫刻・絵画 ～

くにまつ きねた
国松 希根太

(1977年生)

【受賞者の経歴と受賞理由】

札幌市出身・白老町在住。

2001年多摩美術大学卒業。2010年北海道教育大学大学院修了。

2002年から共同アトリエ「飛生(とびう)アートコミュニティー」(白老町)を拠点に制作活動を行い、精力的に作品の制作と発表活動を続けている。

主に個展、グループ展を中心に活動を展開。近年の発表活動は北海道の現代アートシーンにおいて特にめざましく、中堅・若手作家のなかでも突出した動向を見せている。ほぼ毎年開催している個展では、最新の大作を発表。意欲的な新作やシリーズを代表する完成度の高い大作を発表し大きな注目を集めた。

一方、グループ展では、企画展に出品を重ね、その展示作品は展示テーマを代表する中核作品の一角を成してきた。構成的な木彫作品の制作から発展して、近年は木を素材とした立体作品のほか、木地を生かした平面作品やインスタレーション作品などに表現の幅を広げている。〈HORIZON〉と題された一連の平面作品のシリーズは、自然の中に身を置き、土着の生活環境から生まれたその澄明で冷涼な表現で、地球の表層と断層に対峙する深遠な造形となってかたちを成し、北方の風土への層位、人間社会の歴史への視野を内包した独創的な表現となっている。

また、飛生アートコミュニティーの活動として、イベントや展覧会の企画にも多数関わり、毎年秋に開催される「飛生芸術祭」は数多くの来場者を集めて美術の普及と交流に大きな役割を果たすとともに、地域に根ざしたアートイベントとして定着、意義ある文化活動の実践となっている。

近年は国内ばかりでなく海外でも積極的に作品を発表し、北海道の中堅作家を代表するめざましい活躍と近年の創造性豊かな造形表現は、今後一層の進展が期待されるものと考え、奨励するものである。

【近年の主な活動実績】

個展

2012年 "Kineta Kunimatsu Exhibition" STV北2条ビル(札幌)

2012年 "KINETA KUNIMATSU EXHIBITION 2002-2012" 飛生アートコミュニティー(白老)

2014年 "material" スパイラルガーデン(東京)

2014年 "BEYOND THE HORIZON" Gallery 創(札幌)

2014年 "飛生でみつめる景色" 飛生アートコミュニティー(白老)

2014年 "国松 希根太展" t.gallery(東京)

グループ展

2012年 "飛生芸術祭 2012" 飛生アートコミュニティー(白老)

2013年 "PARC 1 [Biotope]" 札幌駅前通地下歩行空間 | 北1条イベントスペース(札幌)

2013年 "ACROSS" MORIHICO Plantation(札幌)

2013年 "* folding cosmos 2013" モエレ沼公園ガラスのピラミッド(札幌)

2013年 "札幌美術展 アクア-ライン" 札幌芸術の森美術館(札幌)

2014年 "おびひろ現代アート-2014" 帯広市民ギャラリー(帯広)

2014年 "500m 美術館 vol.11「北の脈 -North Line-」" 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館(札幌)

2014年 "こどもとおとなの美術展 木と石にあそぼう" 苫小牧市美術博物館(苫小牧)